学校番号	２０２

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生での基礎知識を織り交ぜ、いろいろな技法や素材を使って制作します。自然、自己、社会などを深く見つめて考える「絵画・彫刻」、生活を美しく豊かにすることを考える「デザイン」、作品や作者の個性などに関心をもち、時代、民族、風土、宗教などによる表現の違いや共通性などを考察して、美術文化についての理解を深めていく「鑑賞」の分野について学習します。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめて主題を生成し、創造的で心豊かな表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し創造的に表現する。	作品や作者の個性などに関心をもち、表現の工夫や美術文化などを多様な視点から分析し理解を一層深めること。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1・2・3学期	人物クロッキー	【絵画】【鑑賞】 ・生徒同士でモデルとなり、人物クロッキーに取り組む。 ・相互鑑賞	○ ○	○	○	○ ○	a:人物を描くことで、美術の多様な表現に関心を持つ。 b: 対象を見つめて、人物の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:対象を見つめ、クロッキーの目的を理解し鉛筆の特性を生かして表現している。 d: クロッキーのよさや美しさを感じ取る。	学習活動の様子 制作の様子 作品
1学期	美術や美術文化について知ろう	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書等から美術作品を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習を踏まえた「美術Ⅱ」の学習のイメージを持つ。 ・作品鑑賞 ワークシート・教科書をもとに作者や作品の個性などにふれ、発想や構想の独自性を理解する。 時代、民族、風土、宗教などによる表現の相違や共通性などを考察し、美術文化についての理解を深める。	○ ○			○ ○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、作品や作者の個性などに関心をもち、心豊かな生き方の創造にかかわる美術の働きや文化についての理解を一層深めている。	ワークシート 学習活動の様子 鑑賞の様子

1学期	名画模写	【絵画】【鑑賞】 ・水張り 水張りの技術を生かして B2パネルに画用紙を張る。 ・名画を選ぶ 教科書等から模写をするための絵画作品を選ぶ。 ・基準線（メッシュ入れ） 選んだ作品のスケールを考察し、比率を計算する。B2パネルのサイズに合うようにメッシュの縦、横の線を書く。 ・制作 選んだ作品の表現効果や作者の意図、用具や絵の具の特性や効果を感じ取り、模写をする。 ・相互鑑賞 模写をした作品や作者について感じたことや感じ取ったこと、表現の工夫について発表する。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：絵画表現の特性や美術文化に関心を持ち、その働きを考えながら表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 b：感性や想像力を働かせて、絵画作品の目的や美しさから主題を生成し、創造的な絵画表現の構想を練っている。 c：鉛筆やアクリル絵の具の特性を生かし、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 d：作品や作者の個性などに関心をもち、時代、民族、風土、宗教などを多様な視点から分析し、表現の相違や共通性などを考察し、美術文化についての理解を一層深める。	制作中の態度 作品 鑑賞の様子や発言内容 鑑賞ワークシート
2学期	抽象砂絵の作製	【絵画・彫刻・デザイン】 【鑑賞】 ・鑑賞 抽象絵画を鑑賞し、抽象とはなにか、そのような表現方法に何故至ったのかを知る ・制作 「感情」をイメージし、砂絵の構想を練り、作っていく。 ・額縁のデザイン・制作 絵画に合わせて額縁のデザインを考え、彫り・着色を行う ・鑑賞 制作した作品について相互鑑賞を行う	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a：感じ取ったことや考えたこと、想像から表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、形体・色彩・構成を創意工夫して構想を練ろうとしている。 b：自己の内面を見つめて主題を生成している。 C：技法や材料、素材の特性を活かして、特性や効果を活かして表現している。 d：作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などについて理解を深める。	制作途中の様子 鑑賞の様子 作品 鑑賞の様子・ワークシート

3学期	篆刻の持ち手のデザイン	【彫刻・デザイン】【鑑賞】 ・鑑賞 歴史的な篆刻の持ち手や、過去の作品を鑑賞する。 ・デザイン 篆刻の持ち手のデザインを行い、平面的に描いたものを立体物として、考える。 ・制作 高楼石を4面から削り形にしていく。形ができたら、磨いて持ち手として相応しいよう磨き上げる ・鑑賞 互いの作品を鑑賞しあう	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:感じ取ったことや想像から表現することに関心を持ち、主体的に主題を生成し、創意工夫して構想を練ろうとしている。 b:篆刻の持ち手という目的に合わせ、発想し構想を練っている C:技法や素材の特性を活かして、形を表現している。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などについて理解を深める。	制作途中の様子 鑑賞の様子 作品 鑑賞の様子・ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。